

1・2分団合同定例訓練グループ演習結果（実施日：2月11日（日））

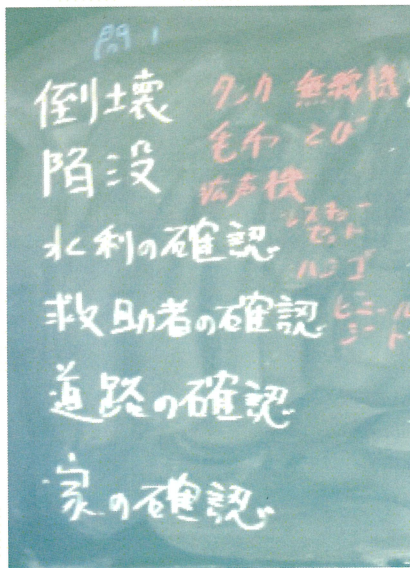
1. グループ討議・演習

議題：能登半島地震被害状況画像を基に、下記の間1～間4を見て、何を感じ・どのように行動するかについて、各グループより報告して頂いた。

①グループ振分け

Aグループ	成瀬	室	近藤	伊勢	阿部	成田
Bグループ	白髭	渡邊(慎)	加藤	田中	野村(将)	後藤(茂)
Cグループ	服部	堀尾	安藤(誠)	林	福田	立澤
Dグループ	前田	高山(剛)	三宅	岩戸(徹)	市丸	

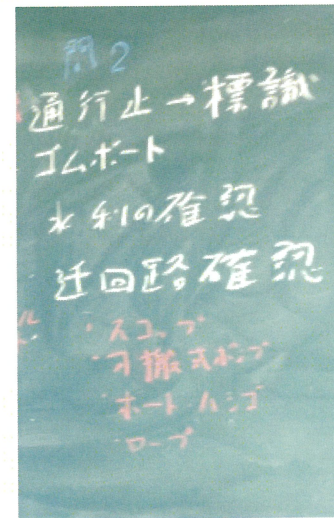
問1



各グループ 報告の要約

<p>Aグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路状況及び建物倒壊確認。 ・声掛け巡回（ケガ人確認） ・2名1組行動する。
<p>Bグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩くと落下の危険性有り。 ・手前が通れたとするなら通行止めにする。 ・道路沿いの家が倒壊する危険性有り。 ・徒歩で周りながら、倒壊と陥没に注意し、住民の安否確認をする。
<p>Cグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声掛け、要救助者の確認。 ・避難所の確認。 ・水利の確認。
<p>Dグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両を使って、場面に対して <ul style="list-style-type: none"> …消防団車庫へ状況報告する。 ・道路の確認をしつつ <ul style="list-style-type: none"> …人命を確認、避難誘導をする。

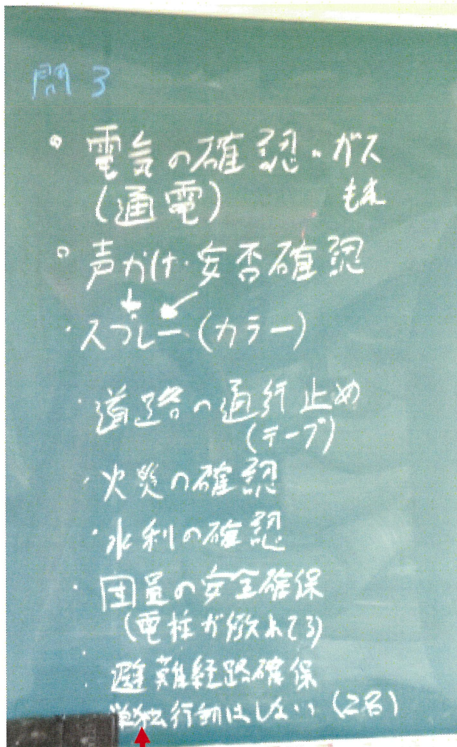
問2



各グループ 報告の要約

<p>Aグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通行止めにする（自転車進入危険） ・自分たちの安全経路確認と皆の避難経路確保。 ・ゴムポートを手配申請する。
<p>Bグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防車通行前にトビで突いて道路状況確認。 ・迂回路が無いか確認。 ・消防車のポンプ（低水位ストレーナ）で水を抜く。 ・道路沿いの住民安否確認（声掛け）
<p>Cグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通行止めにする。 ・本部へ報告。 ・数名で閉じ込められている人の確認、救出。 ・確認後、スプレマキングをする。 ・水利の確認。
<p>Dグループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団車庫へ状況報告。 ・現地到着後、通行止め標識設置。 ・トビを持って水深確認後、通行可否確認。 ・通行可能箇所の人命救助等を行う。

問3

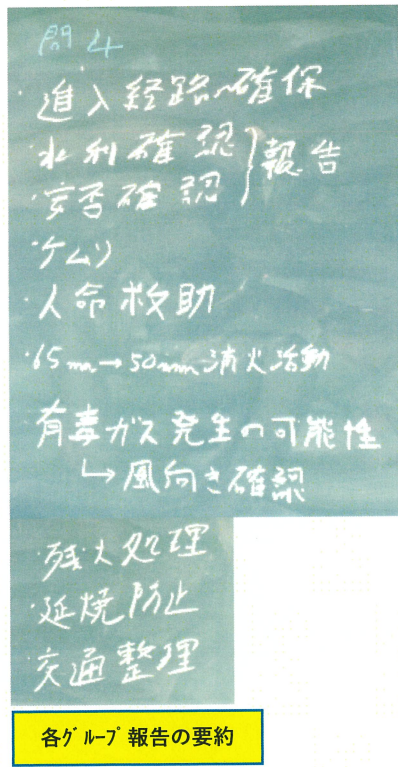


単独

各グループ 報告の要約

<p>A グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通行止め処置、声掛け及び要救助者の確認。 ・ 確認後、貼紙及びスプレーにてマーキング。 ・ ガス漏れの確認。 ・ 救助困難箇所の報告。 ・ 2名以上1組で行動する。
<p>B グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 車両が進出出来ない。 ・ 電線に触れないように徒歩で通行。 ・ 危険な為、外からの声掛け(拡声器)にとどめることも検討。 ・ 通電しているかを棒を立て掛けるなどして確認。 ・ 停電しているかを確認後、安否の確認を行い、結果をスプレーマーキングする。 ・ 通行止めテープを貼る。
<p>C グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家の中に閉じ込められている人の確認(声掛け) ・ 火災発生の確認。 ・ 漏電有り無し確認。 ・ 水利の確認。 ・ レスキューセット、とび口、通行止めテープを持って行く。
<p>D グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの安全確保(電線の垂れ下がり) ★先へ容易に踏み込めない! ・ 人命の有り無しを確認(笛・拡声器使用)

問4



各グループ 報告の要約

<p>A グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水利の確認。 ・ 残火の確認。 ・ 要救助者の確認。 ・ 風上から行動する。
<p>B グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残火処理。 ・ 燃えている所とそうでない所の境目確認。 ・ 風向きに注意する。 ・ 燃えてない所に放水(延焼防止) ・ 交通整理を行う。
<p>C グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有毒ガス発生確認。 ・ 風向きで進入方法を考える。 ・ 水利の確保・放水準備。 ・ 延焼を防ぐ。
<p>D グループ回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水利を探す(使用可否確認) ・ チームを組んで人命救助。 ・ 可搬式(2人)で行ける所まで行き、周りから消火する。 ※フオガン、トビロ使用。